

てもてあつかふにはあらずとなむ播州室などには、八朔に雛を立るとぞ、

〔見た京物語〕九月出かはりあり雛賣る、

〔浪花街能噂〕千長○中

イヤ雛を三月立て、又九月もかざるといひやすが、さうでありやすか

子、鶴人、九月は唯一寸と、かざるばかりさ、五月の菖蒲人形は、綺麗なことでもりやす、

〔御留守居勤方手扣留〕御雛拜見心得

一御禮濟御雛爲拜見、御廣敷江相廻り候間、御表詰合不申段、當番より大目付并御同朋頭江申斷

置、半袴著替、一同御廣敷江相廻り、御用人部屋に扣居、尤御雛爲拜見相廻り候段、番之頭江達候得

者、其段番之頭江申込、其後拜見相廻り候、而宜旨、番之頭申聞候間、御用人一同相廻ル、御廣座

敷御縁江表使案内にて、堅廊下罷越、千鳥之間御縁御杉戸内ニ而解劔致し、表使の案内ニ而御對

面所御三之間御縁ニ而案内之表使抜き候間、一寸時宜いたし、猶又少々上之方ニ表使不殘著座

致し居候間、右之處にて下三居挨拶致し、夫江御下段御縁ニ老女衆著座致し被居候間、圖之處江

罷越時宜致し相應申述候而罷立、御三之間江入、猶又拜見不殘拜見、相濟、尙又圖之處江罷越相應

申述、千鳥之間御縁御杉戸内ニ而帶劔いたし、御廣座敷江罷越候へ者、表使出居候間、御雛拜見之

御禮申述ル、且多分御上り合之御肴并御下夕等之被下有之候間、右等之御禮も申上、御用人部屋

江引夫江退散○拜見之圖略

〔甲子夜話〕大城大奥ノ御雛ハ、世間ノ如ク高ク棚ヲ設テ並ベ置クコトハ無ク、席上ニ氈ヲ鋪テ

並ベ在リト云、三月ニハ拜見ヲ免サレテ、婦女ノ輩ハ市坊ノ人ニテモ、大奥ノ女員ニ親縁アルハ、

ソレ江ノ部屋ヨリ手引シテ、御庭ヨリ御間中ノ御雛ヲ見物スルヨシ、拜見セシ人ノ語ナリ、イ

カサマ雛ハ公卿ノ形ヲ作リシマデノモノナレバ、尊上ニテ貴ルベキモノニハ非ズ、世上ノ所爲

ハ畢竟民間ノ習ハシナリ、